

海外における活動

タイ、中国でインストラクターの競技大会を開催

安全運転普及活動の核となる交通教育センターは、活動のレベルアップを図るため、インストラクターの安全運転技術と指導力の向上に努めている。その取り組みの一つとして毎年「アジア・大洋州地域安全運転インストラクター競技大会」を開催。1月にタイで行われた同大会には8カ国117名のインストラクターが参加した。運転技術の研鑽だけでなく、お客さまへの指導力の強化や各国参加者による効果的な施策を共有することで、活動の質の向上につなげている。

また、中国では9月から10月にかけて販売店のインストラクターによる「安全運転技能大会」を初めて開催。中国国内から選抜された54名が予選に参加し、上位20名が決勝に臨んだ。



タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、インド、フィリピン、台湾、シンガポールから117名が参加



インストラクター競技大会では運転技術とお客さまへの指導力を審査



中国で初開催となった安全運転技能大会の決勝では実技(上)や模擬解説(下)などが行われた

UAEで初となる安全運転研修を実施

UAE(アラブ首長国連邦)ではデリバリーサービスの需要急増に伴い、特にドバイなどの都市部でデリバリーライダーのバイク事故が増加している。

事故低減に向けて、アフリカ・中東地域を統括するHondaの拠点HAMER(Honda Africa and the Middle East Representative Office)は、デリバリーライダー向けの安全運転研修と、現地インストラクターを養成するための研修を実施した。

HAMERはドバイ道路交通局と連携し、9月に「ドバイオートドローームナショナルサーキット」で安全運転研修を開催。主要デリバリーサービスのライダー 27名が参加した。交通教育センターレインボー浜名湖のインストラクターが2日間にわたり、座学と実技による指導を行った。これと併行



ドバイで働くデリバリーライダーが座学と実技による安全運転研修を受講



して、HAMERのスタッフ3名を現地インストラクターとして養成するための研修も実施。3名はアフリカ・中東地域で初となるHondaの認定インストラクターとなった。



インストラクター養成研修では初心運転者を想定した指導のロールプレイなどが行われた



ベトナムの小学1年生全員にヘルメットを寄贈

Honda Vietnam(HVN)はベトナムの国家交通安全委員会と教育訓練省と協力して、同国の小学1年生へのヘルメット寄贈プログラムを展開している。ベトナムのライダーにヘルメットを着用する習慣を根づかせ、安全基準に適合したヘルメットの着用率を100%にすることが目的である。HVNは、このプログラムを通じて、保護者に自分自身とこどものためにヘルメットを着用することを呼びかけている。

10月にハノイにあるヴァンバオ小学校で2025-2026年度の発足イベントが開催され、三部敏宏 本田技研工業(株)取締役代表執行役社長と貝原典也 同取締役代表執行役副社長が出席した。2025-2026年度はHVNを通じてヘルメット180万個を寄贈する。



イベントに参加した小学1年生にヘルメットが手渡された

発足イベントでスピーチを行う
三部敏宏 本田技研工業(株)取締役 代表執行役社長

Safety Info.

インフォメーション

第55回全国白バイ安全運転競技大会開催 全国の白バイ隊員が安全運転技術を競う

昨年10月11日と12日の両日、自動車安全運転センター安全運転中央研修所(茨城県ひたちなか市)で第55回全国白バイ安全運転競技大会(主催:警察庁)が開催された。同大会は「白バイ乗務員の運転技能を向上させ、受傷事故の絶無を期すとともにその士気の高揚を図り、もって道路交通の安全の維持に資すること」を目的として、1969年より

実施されている。Hondaは同大会の審判業務に協力するなど運営をサポートした。今回は44都道府県警察および皇宮警察から、女性隊員34名を含む123名の選手が参加。1日目の競技は悪天候のため中止となり、2日目の不整地走行操縦競技、傾斜走行操縦(スラローム)競技の計2種目(女性の部は傾斜走行操縦競技のみ)が行われた。



傾斜走行操縦(スラローム)競技



不整地走行操縦競技

主な結果は以下の通り

- 団体競技の部・第1部(9都府県警察)
第1位/警視庁 第2位/兵庫県 第3位/愛知県
- 団体競技の部・第2部(35道府県警察および皇宮警察)
第1位/熊本県 第2位/山梨県 第3位/高知県



閉会式では各部と種目別の入賞者を表彰